

「差金決済型自社株価先渡取引」 に関する補足説明資料

2022年 9月 14日



株式会社マーケットエンタープライズ



証券コード：3135

Agenda

1 本取引実行の背景及び目的

2 取引の概要

3 時価評価と業績の連動イメージ

1

本取引実行の背景及び目的



背景及び目的

背景

当社の大株主であり、40万株（発行済株式総数の7.5%）を保有するY J 1号投資事業組合様より、信託期間の満了を理由に当社株式の売却ニーズが発生。

目的

①適正な株価形成の実現

└ 上述の株式が市場に放出されると、株式の需給バランスに悪影響が生じ、適正な株価形成を妨げる可能性があることから、当該事態を回避

②機動的な資本政策の実現

└ 現在目標として掲げている「中期経営計画（2024年6月期に売上高200億円、営業利益12億円）」に照らし、その初年度（2022年6月期）は想定どおりの推移となったことから、今後の株価・流動性に応じた機動的な資本政策実現への選択肢を確保

SBI証券が、当該会社を保有する期間中のヘッジとして当社との間で
本契約を締結することを条件として、一時的に当社株式を保有。
※ 資本業務提携ではございません。

2

取引の概要

取引の概要 I (契約当初～契約中の各四半期末時点)

1. 契約当初時点



①：SBI証券が大株主より当社株式を取得

②：SBI証券はそのヘッジとして、当社と先渡契約を締結（先渡価格＝2022/9/14終値の102%）

2. 契約期間中の各四半期末時点



- SBI証券保有分の当社株式に対して、各四半期末時点での時価評価を実施
- 当該時価評価と前期末時点での時価評価の差額を基準（注）として、当社の当期損益（営業外収益 or 費用）にて計上

（注）先渡価格以上については75%、先渡価格以下については100%となります。

取引の概要 II (契約終了 = 満期 もしくは 当社の定める任意の時点)

3. 契約終了時点



①：SBI証券は保有する当社株式について、売却（注）

②：売却完了後、当社とSBI証券との間で売却金額に応じた現金を受渡

(注) 売却先について

SBI証券の保有する当社株式の売却先としては、以下の可能性があると考えております。

A：市場での売却

B：当社による自己株式としての取得

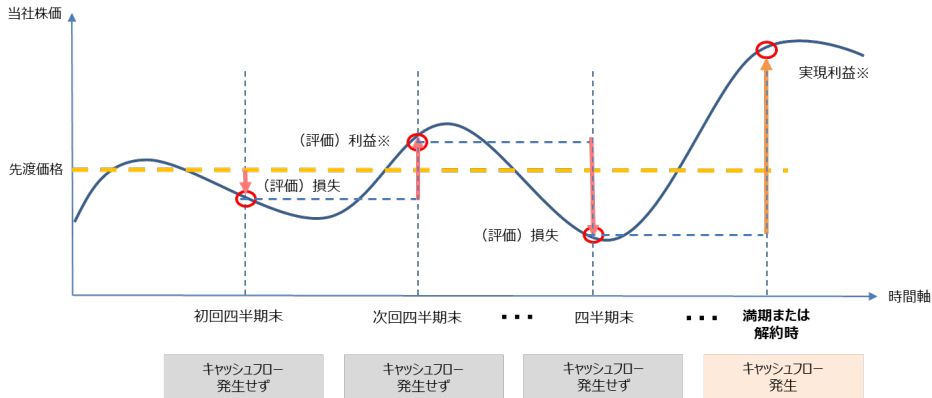
C：特定の投資家へのブロックトレード

3

時価評価のと業績の連動イメージ



時価評価と業績の連動イメージ



※先渡価格を超えている部分の75%となります。

業績への影響

本契約期間中の各四半期末時点における当社株式の時価評価が当社の業績に影響を及ぼすこととなり、具体的には当社株式の時価が前四半期末時点の時価（当初四半期においては先渡価格）を

- ・上回った場合＝「営業外収益」を計上
- ・下回った場合＝「営業外費用」を計上することとなります。

本資料で開示されている将来に関する記述は、
本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、
実際の動向は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】

マーケットエンタープライズ・IR

ir@marketenterprise.co.jp